



歩いて みませんか 新しい中央通り

道路管理課 ☎66♦1143

中央通りは、市民会館から図書館にいたる市街地を南北に貫く主要道路で、沿道には個人商店を中心とした商店街が形成されている通りです。この通りを、車ではなく人を中心とした道路、特に、「車いすの通りやすい歩道」を整備するため、平成13年より工事を行ってきました。

そして、今年の7月、この中央通りがお年寄り・障害者・子どもなどの交通弱者にやさしいみちとして新しく生まれ変わりました。

皆さん、車を置いて、新しい中央通りを歩いて、このやさしさを実感してみませんか。

人にやさしい 歩道を目指して

〜新中央通りができるまで〜

平成9年、中央通りがいろいろな人の意見を取り入れた理想的な歩道に整備されるよう、沿道住民や商店街・車いす利用者などをメンバーとした「中央通りの歩道を考える会」が発足しました。

「考える会」は、お年寄り・障害者・子どもなどの交通弱者に配慮した人にやさしいみちづくり

を目指し、車いすの実地体験や利用者へのアンケート調査などを実施し、数十回におよぶ会議を経て整備方針をつくりました。その方針の主なものは次のとおりです。

- 歩道と車道の段差を少なくし、緊急時には取り外しのできる車止めを設置する。
- 車が速度を落とすように蛇行した車道とする。
- 電柱をできるだけ統合し、歩道のバリアフリー化をはかる。
- 歩道幅員を最低2・5mは確保する。

このような方針の下に整備された中央通りは、人にやさしいみちとして生まれ変わりました。

